

2003年1月30日
川崎製鉄株式会社

石川県羽咋郡市広域圏事務組合リサイクルセンター運営管理の受注について
～ 15年間にわたる長期運営管理を受注、今月より操業を開始 ～

川崎製鉄はこのたび、石川県羽咋郡市広域圏事務組合のごみ燃料化(RDF)施設に関する運営管理を受注いたしました。

契約期間は2003年1月から2018年3月までの15年3ヶ月と、長期間にわたる契約となっております。

川崎製鉄は、2001年6月に羽咋郡市広域圏事務組合向けRDF施設(処理能力66トン:16時間稼働、2系列)の建設を受注、2002年12月に試運転を終了し、本格稼働に入りました。

今回、羽咋郡市広域圏事務組合では、オペレーションおよびメンテナンスを含めた包括的な業務を民間に委託するにあたって、2002年8月に「指名型プロポーザル方式」による技術提案を募集し、川崎製鉄・極東開発JVが優先交渉権を獲得、受注したものです。

本事業の概要は下記の通りです。

- (発注者) 羽咋郡市広域圏事務組合
- (業務名) ごみリサイクルセンター運営管理委託
(運転管理、施設・建物等メンテナンス等)
- (契約期間) 2003年1月～2018年3月(15年3ヶ月間)
- (受注者) 川崎製鉄・極東開発特定運営管理委託事業共同企業体
- (受注金額) 87億円(うち川崎製鉄 66億2400万円)
- (契約締結日) 2002年12月5日

ごみリサイクルセンターは2002年12月より試運転を行ない、本年1月より本格稼働を開始いたしました。なお、リサイクルセンターは、ごみ燃料化施設およびごみ資源化施設(処理能力21トン/5時間稼働)で構成されており、川崎製鉄がごみ燃料化施設の運営を、極東開発工業(株)がごみ資源化施設の運営を担当しております。

当社では、RDFビジネスで培ってきた技術と、廃棄物処理業務に関わるノウハウをベースに、今後ともJFEグループにおける環境事業の拡大に取り組んでまいります。

以上

(問い合わせ先) 川崎製鉄 広報室 03-3597-3166